

平成26年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（平成26年2月25日）

質問者 民主党 田中 信行 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>5. 公社等外郭団体の諸問題について</p> <p>(1) 県職員の再就職について</p> <p>ア 職員の再就職の公表について、多くの都道府県と同様に、その範囲を課長級以上とすべきと思うがどうか。</p> <p>イ 本県でも職員の再就職の公表について、要綱等を定め、それに基づき公表すべきと思うがどうか。</p>	<p>(一括答弁)</p> <p>職員の再就職に係る公表の範囲及び要綱等の制定については関連がありますので、一括してお答えします。</p> <p>1 幹部職員の再就職状況については、定期人事異動時に部長級を公表し、次長級、課長級は必要の都度、情報を提供しているところで</p> <p>2 今後は、退職管理の適正化を図るため、新たに要綱を制定し、課長級以上の再就職状況について、ホームページ等により公表してまいります。</p>	<p>副知事 高橋 渡</p>

平成26年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年2月25日）

質問者 民主党 田中 信行 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>5. 公社等外郭団体の諸問題について</p> <p>(2) 千葉県土地開発公社について</p> <p>(再質問)</p> <p>充て職理事である6名の部長を代表して総務部長に、理事として理事会にどう対応してきたか。</p>	<p>県から出向している理事につきましては、公社の業務を執行する立場から、理事会におきまして、毎事業年度の予算、事業計画及び資金計画などの決定に参画しております。</p> <p>また、各部長におきましては、それぞれ関係する立場から理事として関わっており、私は公社の財務等に関して意見を述べる立場から参画しているところです。</p>	<p>総務部長 平井 俊行</p>

平成26年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年2月25日）

質問者 民主党 田中 信行 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>5. 公社等外郭団体の諸問題について</p> <p>(2) 千葉県土地開発公社について</p> <p>ア 佐倉市下根用地について、新たな土地需要を見いだせない状況にあるが、この状態への対応はどうか。</p> <p>イ 理事の運営責任についての見解はどうか。</p>	<p>質問のアとイについては、一括して答弁</p> <p>1 佐倉市下根用地については、佐倉市とともに「下根用地活用検討委員会」などにより、用地の効率的な活用について、検討を進めてきたところです。</p> <p>2 一方、当該地域周辺は、京成佐倉駅に近接し、住宅団地や運動施設が立地し、県道の整備も進められるなど、開発のポテンシャルが高まってきているところであり、今後、これらの開発動向も踏まえ、より関係機関と連携を密にして、早期の再取得を含めた土地の利活用について、検討を進めてまいります。</p> <p>3 また、土地開発公社の運営にあたっては、一層の活性化を目指して、民間の知恵が反映できるような取り組みについて、今後検討してまいります。</p>	<p>副知事 高橋 渡</p>

平成26年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年2月25日）

質問者 民主党 田中 信行 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>5. 公社等外郭団体の諸問題について</p> <p>(2) 千葉県土地開発公社について</p> <p>ウ 他への売却が不可能の場合は、県の再取得代金と貸付分の相殺で、県への再取得ができないのか。</p>	<p>佐倉市下根用地については、周辺環境の変化、県道の整備などによるアクセスや利便性の向上を踏まえ、早期の再取得を含め関係機関と幅広く検討を進めてまいります。</p>	<p>副知事 高橋 渡</p>

平成26年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年2月25日）

質問者 民主党 田中 信行 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>再質問</p> <p>5 公社等外郭団体の諸問題について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・民間の知恵を活用するとあったが、理事長または理事に民間人を登用していくのかお聞きしたい。</li></ul>	<p>佐倉市下根用地の関係で民間の知恵ということに対して、どのようなことを考えているのかということですが、佐倉市下根地域は開発のポテンシャルが高まっており、民間が持つ開発のノウハウ等、ヒアリングや意見等を聞く場、そのようなものも含めて、今後、民間活用の方法について、検討してまいります。</p>	<p>県土整備部長 小池 幸男</p>

平成26年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年2月25日）

質問者 民主党 田中 信行 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>要望</p> <p>5 公社等外郭団体の諸問題について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・下根用地について、県で一般財産として再取得すれば、この問題は解決する。</li></ul> <p>県が所有する一般財産の中には目的を失った用地が多く存在する。</p> <p>目的がなければ、買えないという理屈は通じない。</p> <p>公社に土地を残しておく理由があるのか、検討してほしい。</p>		<p>県土整備部長 小池 幸男</p>